

施設で気になる

感染症のはなし

汚物処理室は病原微生物のリゾート地？

汚物処理室は複数の利用者の便や尿が持ち込まれて処理されるため、病原微生物の温床となりやすく、伝播リスクの高い場所です¹⁻³⁾。人や物が汚染を広げる媒介物とならないための、汚物処理室での注意ポイントを振り返りましょう。

● 清潔・不潔のエリア分け

汚物処理室の中は、清潔エリア・不潔エリアを明確に分ける必要があります¹⁻³⁾。清潔・不潔が入り混じると汚染が伝播する可能性があります。物品がどちらに分類されるかを考え、適切にエリア分けできているか、清潔に管理したい物品が汚染される環境でないか確認しましょう。上下にエリア分けする場合は清潔が上、不潔が下とします。清潔・不潔の分け方の例を表に示します。適切にエリア分けできるスペースを確保するため、汚物処理室に不要な物品は置かないようにします³⁾。不要な物品が多いと、清掃の妨げにもなります。

表 清潔エリア・不潔エリア別物品配置例 ③を参考に一部改変

清潔エリア	洗浄・消毒後汚物容器、手洗いシンク、手洗い石けん、ペーパータオル、手指消毒剤、個人防護具、清掃用クロス、消毒薬、消毒用容器
不潔エリア	使用後汚物容器、汚物専用流し、ごみ箱、物品洗浄用シンク、ベッドバンウォッシャー

また、シンクや汚物槽近くに、洗浄・消毒後汚物容器や、個人防護具（以下、PPE）を置いていませんか？ シンクや汚物槽近くはしぶきなどで汚染される可能性が高いため、可能な限り遠ざけます³⁻⁵⁾。距離が取れない場合は、汚染が拡大しないように仕切りを付けたり、物品を棚や引き出しに保管したり工夫します⁴⁾。洗浄・消毒後汚物容器は汚物処理室で保管しないことが理想です^{1,3,6)}。



● 洗浄・消毒・乾燥

汚物容器の洗浄・消毒が不十分のまま再利用された場合、感染伝播の要因になる可能性があります²⁾。

洗浄が不足していると十分な消毒効果が得られないため、消毒の前に確実な洗浄を行います。洗浄の際には溝を含め隅々まで洗浄します⁶⁾。洗浄用のブラシやスポンジは、汚染を放置すると菌が増殖し、次に洗浄する容器に汚染を広げる可能性もあるため、使用後は十分に洗浄し、水気を切り乾燥させます^{4,6)}。スポンジは内部の洗浄・乾燥が難しく菌が増殖しやすいため^{2,3)}、2週に1回以上交換しましょう^{3,6)}。

消毒は、適切な濃度・作用時間で実施します⁶⁾。次亜塩素酸ナトリウムは温度・光・有機物による影響で濃度が低下しやすいため使用の都度調製し⁶⁾、お湯での希釈は避けま⁴⁾。浸漬時には物品が完全に消毒液に浸かっているか、内側に空気が入っていないか確認します^{4,6)}。落し蓋を使うと物品が浮くことを防げます。



洗浄・消毒後は完全に乾燥させます。口を下に向け立てて乾燥させることが基本です⁶⁾。タオルなどを下に敷いて乾燥させている場合は、何度も使いまわすと雑菌が増殖するため注意します。食器乾燥機を使用すると便利です。

自動で洗浄・消毒ができるベッドバンウォッシャーの導入により感染防止や労力削減などを図れるため²⁾、未導入のご施設では是非検討してみてください。

● 感染対策その他のアレコレ

汚物処理室の入退室時には必ず手指衛生を行います¹⁾。また洗浄・消毒作業後など適切なタイミングで手指衛生を行えるよう^{1,5)}、手指衛生に必要な物品が揃っているか、手指衛生をしやすい環境かを確認します²⁾。

作業時には、身体の汚染される可能性がある部分を考え、標準予防策に基づき適切なPPEを着用します。例えば洗浄・消毒を行う際には、手袋・マスク・エプロン（ガウン）・フェイスシールド（ゴーグル）を着用します⁶⁾。必要なPPEがすぐに利用できるようにしておきます。

汚物処理室の清掃は、汚染拡大を防ぐためにも徹底します。トイレ清掃と同様に、清潔と不潔の区分けを意識して、汚染を広げない清掃の順番、清掃用具の管理、清掃時の手袋交換、手指衛生のタイミング等を確認しておきます²⁾。手のよく触れる部分は1日1回以上清掃します^{2,3,5)}。適切な空調管理のため、換気・通気口にほこりが溜まっていないか確認します^{3,5)}。一時的でなく慢性的に臭気がある場合は、物品の洗浄・消毒・乾燥や清掃、換気が不十分であったり、未洗浄物品が放置してあったりと、汚染を伝播しやすい環境となっている可能性があるため^{4,5)}、原因を探ってみましょう。

ランクアップのために

汚物処理室での動線・動作をマニュアル化することで、誰もが同一の手順で実施できるようになります⁵⁾。

参考文献 1) 笹原鉄平 他. 入居型高齢者施設における日常的な入居者介助のための感染対策手順書. 排泄介助と汚物室の使用(第1版). 2020年.
 2) 平岡康子, 市川ゆかり. 汚物処理(洗浄)室. 坂本晴世編. INFECTION CONTROL 2019年夏季増刊 院内エリア&部署別「はじめてさん」の感染対策レクチャーブック. メディカ出版. 2019.
 3) 三橋美野. 汚物処理室. 渋谷智恵編. INFECTION CONTROL 2018年夏季増刊 環境整備ICTマニュアル. メディカ出版. 2018.
 4) 木村英恵. 汚物処理室. INFECTION CONTROL 2020. 29(12). 50-4.
 5) 吉田理香. 汚物処理室の管理. INFECTION CONTROL 2020. 29(3). 41-4.
 6) 笹原鉄平 他. 入居型高齢者施設における日常的な入居者介助のための感染対策手順書. 物品の洗浄・消毒(第1版). 2020年.